

地域の団体・事業者との意見交換会について

1 開催主旨

令和元年度は、第3期産業振興計画及び高知県版総合戦略の最終年度となることから、これまでの取り組みの評価と次なるステージの産業振興政策等に関して、ご意見をお伺いするもの

2 意見交換会の内容等

	内 容
意見交換の内容	<p>■産業振興計画（成長戦略）の意見交換</p> <p>(1)それぞれの地域の産業分野の現状と課題の確認（共通認識の再確認）</p> <p>(2)県産業振興計画に対する評価(特に、現在の取組や成果の不十分な点、その原因(理由)、対応策の想定)</p> <p>(3)県産業振興計画の次のステージに望むこと(盛り込んでもらいたい施策や支援のスキーム等)</p>
出席者	<p>地域の団体・事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域：広域観光組織、市町村観光協会、地域の観光関係事業者 等 ・観光事業関係団体：組合等に所属する観光関係事業者 等
開催時期	6月25日～8月7日
開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・7地域別に各1回実施（物部川地域と高知市地域は合同開催） ・観光事業関係団体毎に各1回実施
当日の流れ	<p>1) 開会(開催のお礼及び趣旨説明) 5分</p> <p>2) 自己紹介 5分</p> <p>3) 県からの概要説明、今後の観光政策について 30分</p> <p>4) 当該地域の観光分野の現状と課題を踏まえた次期産業振興計画についての意見交換 50分</p> <p style="text-align: right;">計 1.5時間</p>

【観光分野】地域の団体・事業者との意見交換会概要

区分	実施日	地域団体等参加者数（人）			
		広域 観光組織	市町村 観光協会	その他 団体等	計
①安芸地域	R元.7.18	1	2	2	5
②物部川地域、高知市地域	R元.7.30	1	3		4
③嶺北地域	R元.7.10	1	3		4
④仁淀川地域	R元.7.2	1	5		6
⑤高幡地域	R元.7.8	2	3	1	6
⑥幡多地域	R元.6.25	2	2	1	5
⑦KVCA 賛助会員	R元.7.24			16	16
⑧土佐経済同友会 観光振興委員会	R元.7.24			14	14
⑨高知県旅館ホテル生活衛生同業組合	R元.7.30			6	6
⑩高知県おもてなし県民会議	R元.8.7	2	1	23	26
計		10	19	63	92

1 地域の現状と課題の確認

(1) 戦略的な観光地づくり

- 広域周遊ルートを形成したいが旅行商品化の目利きができない。〈高幡、幡多〉
- 二次交通の整備が十分でなく観光地へのアクセスが不便。
 - 〈安芸、嶺北、仁淀川、KVCA会員、同友会、県民会議〉
- 道路管理者との関係はあるが、道路の幅員や支障木によりバスの乗入れが難しいなど、観光客の受入環境整備が必要。〈仁淀川、高幡、幡多、旅木組合〉
- 閑散期にサイクリングを推進したいが、道路の舗装や幅員、休憩所の整備と、自動車運転手や歩行者の理解などハード・ソフト両面で課題にある。〈安芸、嶺北〉

(2) OMOTENASHI（おもてなし）の推進

- 多言語対応、トイレの洋式化、無線 LAN、案内標識、キャッシュレス化といったストレスフリーな環境整備が遅れている。〈物部川、高知市、仁淀川、嶺北、幡多〉
- 宿泊施設が不足しており、宿泊の要望に応えられない。〈仁淀川〉
- 宿泊施設のバリアフリー化は、客室数が減り収容人数も減る危惧もある。〈KVCA会員〉

(3) 国際観光の推進

- インバウンド向けの情報発信や観光案内は、市町村単独で取り組む（コンテンツや経費）ことが難しい。〈嶺北、高幡、幡多〉
- OHPの多言語化の必要性は感じるが事業者の自前で翻訳や改修することは難しい。〈高幡〉
- 国別の効果的なPR方法が分からない。〈高幡〉
- 観光客が魅力を感じる観光地でも交通手段が分からず、諦めるケースがある。〈同友会〉

(4) 事業体の強化と観光人材の育成

- 観光事業の継続や新たなアイデアがあっても、地域には実行できる人材がいない。
 - 〈嶺北、仁淀川、高幡、幡多、KVCA会員、同友会〉

- 観光事業者や団体も人材不足が課題。〈高幡、同友会、KVCA会員〉
- 県観光コンベンション協会も早急にDMO化し、国が提供する情報や有利な財政支援を地域に供給する役割を担って欲しい。〈仁淀川、幡多〉
- 市町村には、観光専任の職員がおらず、多様な国の支援策を活用できる機会を失っている可能性もあり、アドバイスをもらいたい。〈仁淀川〉
- 事故が起きると県の自然・体験型観光のイメージダウンに繋がるため、リスクマネジメントに取り組む必要がある。〈安芸〉

(5) その他

- 商店街は物販が厳しく地元ならではの名物や目玉商品の開発が必要。〈KVCA会員、県民会議〉

2 現在の県産業振興計画の評価

(1) 戦略的な観光地づくり

- 観光クラスターの形成により、地域の観光地化が進んだと感じる。〈仁淀川〉
- 自然&体験キャンペーンで整備した体験施設を契機に新たな観光客を獲得できた。〈安芸〉
- 地域の現状を踏まえた的確なアドバイスと事業実施にも協力的で事業者のやる気が引き出された。〈仁淀川〉
- 様々な取組により、県内の観光スポットや観光商品が増えた。〈嶺北、同友会〉
- 「維新博」や「れいほく博」の開催、拠点施設の整備が進み観光客の増加を実感。〈嶺北〉

(2) 効果的なプロモーション

- 「幕末維新博」を通じて、歴史・文化施設の入館者が増加し、有り難い。〈KVCA会員〉
- 高知県観光のブランディングが進み、旅行商品化を通じた旅行業界での露出も高まり、誘客につながっている。〈旅木組合〉

(3) OMOTENASHI（おもてなし）の推進

- 通訳コールセンターは外国人観光客の案内に心強い施策であり継続して欲しい。〈高幡〉
- Wi-Fi環境の整備は一定進んだが、全域で見るとまだ不十分。〈同友会〉

(4) 国際観光の推進

- クルーズ客船のOPツアーの催行により、観光客が地域に周遊している。〈KVCA会員〉
- ジェットスターの就航以降、総合案内所の外国人対応が多くなり、他の案内所の対応方法を共有して欲しい。〈KVCA会員〉
- 中山間地域にもアジアを含め、FITが足を運んでいる。〈幡多〉

(5) 事業体の強化と観光人材の育成

- 常日頃、地域支援企画員が事業者に声を掛け一緒に考えてくれている。〈KVCA会員〉

(6) その他

- 県外観光客の入込や観光総消費額の増加など、一定の効果を感じる。〈同友会〉

3 県産業振興計画の次のステージに望むこと

(1) 戦略的な観光地づくり

- 一人当たりの観光消費額を上げる「食」に関する施策の展開。〈同友会〉
- ストレスフリーな観光地づくりに向けて、AI等を活用した交通ニーズの把握や二次交通の連絡交通システムの構築、さらなる二次交通の整備。〈安芸、同友会、県民会議〉

- 高知で展開しやすいスポーツツーリズムの推進。〈KVCA会員、同友会〉
- 着地型商品を結んだコースを作り、情報を発信する取組の支援。〈幡多〉
- クラスター化のさらなる推進。〈同友会〉

(2) 効果的なプロモーション

- リスクマネジメント、観光商品を高付加価値化するブランディングなどのPR。
〈安芸、同友会、旅ホ組合〉
- デジタルマーケティングを積極的に取り入れた観光プロモーションの実施。〈KVCA 会員〉
- 世界に四国が発信できるお遍路を観光資源としての活用。〈安芸、高知市〉
- 地域の観光関係団体等が観光商品を県内の旅行会社にアピールできる機会の設定。〈KVCA会員〉

(3) OMOTENASHI (おもてなし) の推進

- おもてなしタクシーがあることを広く知らせる取組。〈KVCA会員〉
- 観光客が地域をあげて歓迎されたと感じる雰囲気醸成。〈安芸、同友会、県民会議〉
- モバイル端末での観光案内機能の強化。〈県民会議〉

(4) 国際観光の推進

- 高知を訪れた外国人観光客の属性や理由を分析した尖ったプロモーションの実施。〈同友会〉
- 宿泊や観光施設の情報を基に旅行計画をサポートするサイトの構築。〈安芸〉

(5) 事業体の強化と観光人材の育成

- KVCAと広域観光組織、市町村観光協会の位置関係や役割を明確化し、特に広域観光組織にはエリアマネジメントを期待。〈物部川、幡多、同友会〉
- 国からの効果的な情報取得及び共有と有効的な財源確保のためのKVCAのDMO化。
〈仁淀川、幡多〉
- ガイドで生計が成り立つ仕組みづくりと、顧客の安全確保や楽しませる人材の確保・養成。
〈仁淀川、KVCA会員、同友会〉

(6) その他

- 全体戦略の中で観光事業者が進むべき方向性を示してもらえたら、民間はより実行に移しやすくなる。〈同友会〉
- 次期計画を示す際には、県民にも分かりやすい内容でモチベーションを高める（夢のある）見せ方をして欲しい。〈同友会〉
- アンケートでのマイナス意見を分析し、高知県の弱点を補うような施策。〈県民会議〉